

◀ 後日回答及び追加質疑回答内容 ▶

■高齢者福祉について■

【質問者】

第４期香美町地域福祉計画、第９期香美町福祉計画が作成され取組がなされている。令和７年４月発行の「浜上勇人ニュース」の中で「医療、福祉の充実として、認知症、見守り体制の構築に取り組んでいますと」語られている。香美町でも認知症の人、認知症予備の人、合わせると、村岡区だけでも５００人と推定される中、香美町福祉課、地域包括支援係が昨年１４名でしたが今年は１１名と減員になっている。また、高齢者訪問相談員２名募集も１名しか採用されていない。きめ細かい見守り訪問の人員確保を要望する。また、認知症ケアパスオレンジロード香美が発行され、きめ細かく対応が記載されている。兵庫県の委嘱として民生協力委員が、地区で高齢者の安否確認、見守り支援をされている。民生協力委員の活動をオレンジロード香美に記載することを提案する。

【福祉課】

福祉課地域包括支援係の職員数が減少していることにつきましては、育児休業、退職や異動に伴い１４名から１１名に減少となっています。１名は１１月に復職予定となっています。町職員全体人数も、退職などにより減少するものの、職員募集しても応募が少なく、また、辞退者も多く確保ができない状況です。高齢者訪問相談員につきましても同様に採用がままならない状況です。ご質問にございますとおり、高齢化等に伴い認知症の方も年々増加しています。見守り体制を充実させるためには、対応する職員を増やす必要もございますので、地域包括支援係の増員に対応するためにも、町職員の採用を増やすよう努めてまいりたいと考えています。ご質問にありますとおり、民生協力委員による高齢者安否確認や見守り支援を行っていただいておりますので、次回の改定時には、認知症ケアパスオレンジロード香美に記載いただくよう、作成者である「認知症施策ネットワーク委員会」へ申し伝えさせていただきます。

■選挙について■

【質問者】

７月２０日参議院議員選挙があった。７月３日スプレーのようなもので汚れのある看板が設置され景観が良くないと地域局へ連絡した。また７月８日、候補者ポスターが間違った場所へ貼られていると地域局へ連絡。投票日まで張替えされない状況だった。３年後にまた参議院選挙があると思われる。香美町選挙管理委員会の今回の対応状況をお願いする。今後の対応策も併せてお願いする。

【総務課】

参議院議員選挙におけるポスター掲示場につきましては、多数の立候補者が予測されることから掲示枠を増加するよう兵庫県選挙管理委員会から急遽指示がありました。その対

応を優先する必要が生じたため、ご質問にございます汚れのある看板も使用せざるを得ない状況となりました。地域局へご連絡いただきましたが、告示日までに時間もなく看板を改修することはできず、申し訳ございませんでした。今後は、兵庫県選挙管理委員会とも協議し、早期に判断していただくように申し入れを行ってまいります。また、候補者ポスターが誤った場所へ貼られたことにつきましては、当日現場を確認し、兵庫県選挙管理委員会に報告し、当該候補者へ撤去の通知を行っていただきましたが、撤去されませんでした。いずれの選挙におきましても、候補者（陣営）以外の第三者が撤去することは許されていないことから、町では撤去及び貼りなおすことができませんでした。今後の選挙におきましては、兵庫県選挙管理委員会や町選挙管理委員会から候補者に対して十分に説明し、貼り間違いのないよう指導を徹底していきたいと考えております。